

## 平成30年度第2回産業衛生技術部会幹事会議事録

日時：平成30年9月15日(土) 12時～13時

場所：東京工科大学蒲田キャンパス 12号館M219

出席者(敬称略)：照屋浩司・担当理事、橋本晴男・副部長、  
森 洋、田口豊郁、浜井盟子、伊藤昭好、宮内博幸、中村憲司、村田克、  
(企画運営委員(オガザバー) = 野原誠一郎、津田洋子、中原浩彦、原邦夫)

### 議事録

#### 1. 来年度以降の部会体制について

来年度からの部会体制について副部長および事務局から説明があり、当日配布資料は企画運営委員会による案(事前配布資料から訂正あり)に幹事や事務局員・各委員会・企画運営委員も加えた体制案としたこと、これはあくまで幹事会での検討のための案であること、「部会に関する細則」上では新年度の地方会長による推薦が必要だが日程がタイトである(規定通りに進めるとした場合、選挙で選ばれ3月頃就任の新地方会長が地方会幹事を推薦し、その地方会幹事の互選で部会長を決め、その結果を4月の理事会と5月の総会に報告する必要がある)ため、事前に幹事を決める方式であること、各幹事へはこれから来年度について打診する予定であることが説明された。体制案の内容について了承された。

#### 2. 代議員、理事、監事選挙への対応について

資料に基づき事務局から次の通り説明があり、各地方会における代議員の増加については技術部会に関わる代議員数を増加させるべく各地方会で活動して頂く、地方会産業衛生技術部会長については2年後の定年制実施を念頭において各地方会で人選など考慮して欲しい。学会監事については従前通り新部会長を監事としてご推薦頂くよう部会長会議に働きかけることにしたいとのことであった。代議員の合格ラインについて質問があり、各地方会で事情が異なること、関東地方会では20票以上ではないかとの返答があった。また関東以外の地方会からの理事選出の可能性について、現状では困難でありやはり最も人数の多い関東地方会から理事を出すべきとの意見が出された。

各地方会における技術部会所属代議員の増加について、および地方会産業衛生技術部会長について、また部会として新部会長を学会監事に推薦することについて、了承された。

#### 3. 第28回日本産業衛生学会全国協議会での部会企画について

資料に基づき事務局から説明があり、第28回日本産業衛生学会全国協議会での部会企画について了承された。

#### 4. 来春の学会での部会企画について

資料に基づき事務局から、温熱環境研究会との共同シンポジウムについては研究会・部会それぞれ2名ずつの演者が決まっていることなど説明があり、来春の学会での部会企画の進行状況について了承された。

#### 5. [連絡] 旅費の取り扱い、および固定資産の管理について

資料に基づき事務局から説明があった。

#### 6. [参考] 厚生労働省「個人サンプラーを活用した作業環境管理のための専門家検討会」に有志が提出した文書について

配布資料に基づき橋本副部長から説明があった。なお先日の理事会でも事実関係について報告されたとのことであった。

#### 7. その他

照屋・部会担当理事から、来年秋に東北地方会開催の全国協議会のパンフレットについて、部会名称の配列に問題があったので指摘済みであること、2年後の理事選挙から70歳の定年制(監事除く)が施行されることが報告された。

以上